

1 「なごや子ども市会」 のあらまし

名古屋市会では、名古屋市内に在住・在学する小学5・6年生を対象に、自分たちが住むまちの議会という身近な場を実際に体験し、市政に対する興味・関心を高めるとともに、岩手県陸前高田市の子どもたちと防災・減災についての話し合いを行い、被災地復興に向けた決意を新たにするため、8月3日(土)に「なごや子ども市会」を開催しました。

子ども市会では、6つの委員会(グループ)に分かれ、メインテーマ「大好きな名古屋を笑顔があふれるまちにしよう！ ～届け、わたしたちの思い～」のもと、名古屋市の施設見学や本会議で意見を発表するための事前の話し合いを行いました。また、本会議には、陸前高田市の小学生も参加しました。各委員会からは防災・減災に関する質問を行い、陸前高田市の小学生からは意見発表をしてもらいました。その後、名古屋市と陸前高田市の子どもたちがこれからも交流を続け、お互いのこと、お互いのまちを思いやりながら、ともに学び、成長することを決意する「名古屋市と陸前高田市の子どもたちとの交流に関する宣言」を採択しました。

(1)子ども市会の流れ

《1日目：7月23日 事前説明会・事前研修会①》

7月23日の事前説明会・事前研修会①では、6つの委員会に分かれて名古屋市の施設を見学しました。その後、委員会ごとに委員長と副委員長を決めて、陸前高田市の小学生に質問する内容と子ども市会本会議で発表する内容について話し合いました。



「2 日目：7 月 29 日 事前研修会②」

7 月 29 日の事前研修会②では、それぞれの委員会に分かれて、子ども市会本会議で発表する「委員会の意見」を話し合いました。また、8 月 3 日に陸前高田市の小学生と交流する代表者を委員会ごとに 1 人決めました。6 つの委員会が終わった後、子ども議員全員が本会議場に集まり、子ども議長と子ども副議長の選挙を行いました。

「最終日：8 月 3 日（午前）陸前高田市との交流」

名古屋市と陸前高田市の子どもたちの末永い交流を願い、なごや子ども市会の代表 8 人（子ども議長、子ども副議長、各委員会の代表者）と陸前高田市の小学生 6 人が、子どもたちの交流が始まった場所である名古屋城に設置された「陸前高田市の子ども達を名古屋市へ招待するプロジェクト」記念銘板の除幕式に参加しました。

「最終日：8 月 3 日（午後）子ども市会本会議」

子ども市会の本会議では、まず委員会ごとに、施設見学や話し合いをもとに考えた「委員会の意見」の発表を行いました。その後、陸前高田市の小学生も参加して、防災・減災についての質問と意見発表を行いました。最後に、全員で「名古屋市と陸前高田市の子どもたちとの交流に関する宣言」を全会一致で採択しました。

(2) 募集と応募

6 月 3 日から 6 月 25 日まで子ども議員 75 人の募集を行いました。その結果、232 人の応募があり、厳正な抽選をして、子ども議員 75 人を選出しました。

